



7月5日(木)～8日(日)頃にかけて、西日本を中心とする集中豪雨により、200人以上の犠牲者が出るという大災害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災した地域の日も早い復興を心から願うところです。

いのちの大切さについて考える

夏休みを前にして、7月第1週は「宮崎県いのちの教育週間」として、学校や関係機関などが連携して、県下一斉で「いのち」について考える取組が推進されました。高鍋東中学校でも道徳や学級活動などの時間に、各学級で「いのちの大切さ」について考えました。

また、6日(金)の全校集会では、「いのちの理由」(作詞・作曲 さだまさし)の映像を見ながら、改めて自分や他の人のいのちの大切さや一人一人が必要とされていることについて考える時間になりました。その歌詩の一部を紹介します。



宮崎県「いのちを大切に教育」

私が生まれてきた訳は
父と母に出会うため

私が生まれてきた訳は
友達みんなに出会うため

(途中略)

私が生まれてきた訳は
きょうだいたちに出会うため

私が生まれてきた訳は
愛しいあなたに出会うため

私が生まれてきた訳は
愛しいあなたを護るため

1年生：ふるさと探訪

4日(水)に、28グループが自分たちで設定したテーマに分かれて、高鍋町内の農商工業事業所や文化財施設等を訪問して見学・調査を行いました。後日に発表会を行います。



宮崎県や高鍋町のお茶について、初めて分かったことがたくさんあります。特に、お茶の味と香りを良くするには、気温の差が必要だということに驚きました。この調査を生かして、地元高鍋町、宮崎県のことについてもっと関心をもってもらえるようにしたいです。

2年生：修学旅行

2日(月)から2泊3日の行程で、広島・京都・大阪へ行ってきました。広島の原爆関連施設での平和学習、京都での寺社仏閣等を巡る班別自主研修、大阪USJのテーマパークなど多くの学びを得た修学旅行でした。心配された6月後半の大阪北部地震に伴う余震や、台風・大雨の影響を受けることもなく、また病気や事故等もなく全員が無事に高鍋に帰ってくることができました。(旅行中の様子は東中HPに掲載しています。)



3年生：認知症サポーター養成講座

4日(水)に本校多目的室で、高鍋町社会福祉協議会や認知症介護者のつどいメンバーのみなさんのご指導の下に、認知症サポーター養成講座を行いました。介護をされているご家族の気持ちを聞かせていただいたり、認知症の症状や対応の仕方についてグループワークを行ったりするなど、多くの学びのあった講座でした。



一番心に残ったことは「周りの人の関わりが最大の薬」ということです。身近な人が認知症になっても、その人との関わりを深くして、笑顔で接することができる人になりたいです。(生徒)

誰もが通る道。そんなときに周りの理解や優しさがどれほど大切なのかを深く考えさせられました。生徒たちは、これからあらゆる場面で「優しさ」をもって相手に接しようとするのではないかと思います。(職員)

中高連携 第1回学習会

2日(月)と6日(金)の2日間、高鍋高校から6名の先生方に来ていただき、国語と英語の2教科について学習指導をしていただきました。特に長文の読解について、段落構成の特徴や筆者の意図する内容把握について演習を行いました。3年生にとっては、高校の先生から直接指導を受けることで、受験生としての意識向上や今後の学習への意欲付けになりました。

